

「ポテンシャルは高いのにもったいない」

インクグロウ株式会社 取締役会長

野田万起子さん

Makiko Noda



中小企業の成長を支援

東証一部上場(2004年)企業から11年3月に独立、高校時代から考えていた経営者に。「中小企業の販路・売り上げ拡大のためのビジネスマッチングのお手伝い(成長支援)をするのがインクグロウの本業です」。

120を超す地域金融機関と提携し約1万社の中小企業経営者に対し、経営に役立つさまざまな情報提供や、「月刊ビジ

静岡市にゆかりがあり、東京を拠点に内外で活躍する皆様に、東京から見た静岡市の良さと可能性、まちづくりの方向について、ご提案いただきます。

ネスサミット」(創刊29年)を届けている。

事業の一つとして毎年、東京ビッグサイトで異業種交流型展示商談会「東京ビジネス・サミット」を企画・運営。昨年は338社が参加し、うち静岡県をPRする「しずおか富士山はごろも海道」には県内から28社が出展した。毎日約3千件に上る国、地方団体の入札情報や、補助金・助成金情報を業種、業態に応じ取捨選択してオンラインで届けるサービスも始めた。

社員には日々「お客さまからありがとう

静岡の良さと結集・連携を

の声を集める」ことを目標とし、その結果「社員がプライドと自信を持って活動できる、人に軸を置いた経営を目指しています。『業績軸』というより人の『幸せ軸』ですね。それが結果的に業績向上につながっていくと考えています」。

世界文化遺産の富士山は観光の強力な武器。「海外からの観光客は世界遺産のあるところに行きたがる。新幹線や空港はあるわけだし、静岡の良さ、資源等を結集させたより具体的なデザイン、全体設計が必要では?国内だけでなく、多くの海外のお客が静岡を素通りしてしまう現状を打破してほしいですね。ポテンシャルはものすごく高いのにもったいない」と指摘する。

「特に観光政策などは静岡市の枠にとられず、富士市や富士宮、御殿場、伊豆などとの広域的な連携を検討するべきではないでしょうか」。

3月に金沢まで延伸される北陸新幹線は、やり方によっては第2のゴールデンルートにつながる、と話す。「そうなる新たな人の流れができ、ますます静岡に集客するのが難しくなる」と懸念も。

「地元静岡の企業の活性化がいつも頭の中にあります」という野田さん。「静岡の経済を盛り上げていくきっかけになるような橋渡しができたらいいなと思っています」。

(文・長田義明、写真・インクグロウ株)

経歴

静岡市葵区生まれ。静岡雙葉学園高等部卒業。東京国際大学経済学部卒業。米国オレゴン州TIU アメリカ校卒業。1993年、株式会社ベンチャー・リンク(東証一部上場)入社、執行役員、取締役を経て2011年、独立しインクグロウ株式会社代表取締役社長に就任。14年、取締役会長。

(一社)日本展示会協会理事・女性活躍推進委員長として仕事観の明確化など、女性の活躍機会拡大に取り組む。静岡大学経営協議会委員。

<http://www.incgrow.co.jp/>